

第43回 乗鞍青少年交流の家自然観察会の報告

自然保護委員長 栗木洋明



5月12日～13日、乗鞍青少年交流の家での自然観察会には6団体31名が参加。初日の12日は薄曇りではあったが、道中や交流の家についてから、乗鞍をはじめ、穂高、槍、笠、黒部五郎、北ノ俣、御岳、白山など、周辺の山々が素晴らしくきれいに見え、大感激。午前10時には参加者全員が交流の家のキャンプ場に顔をそろえ、予定通り開会式を実施。その後、車ごとに山菜取りに出発。今年は例年より新緑の進み具合が早く、交流の家から近い場所が山菜取りの敵地。我々のグループは午前中に満足できるだけの山菜を収穫。昼食後、早めにキャンプ場に戻って仕分け作業に入った。14時、収穫した山菜を観察した後、調理を開始。いきなりできたての天ぷらの争奪戦状態。收拾がつかないぐらいの勢いにびっくり。材料は上物ぞろい、収穫したての新鮮さ、おまけに手慣れた調理の腕前に一同大満足。しばらくして、やっと落ち着きを取り戻し、準備したテーブルでゆっくり味わいながら満足のいくまで食べることができた。15時30分、参加者全員にお土産用の山菜も配布し、第1部の山菜の観察会を終了。夕食後、18時半から第2部の講演会。小野木先生の言葉遊びとダジャレを交えたトークに一同圧倒されながら、あっという間の90分を過ごした。20時から22時までの懇親会も喫茶室を貸し切り大盛り上がり。

13日は明け方にあられが降り、8時半ごろから雨が降り出した。野外での自然観察会の予定を諦め、研修室での講義に切り替えた。自然観察とは何たるかの基本をしっかりと教えていただき、自然保護につなげてほしいという、ノンストップでエンドレスな2時間にわたる小野木先生の熱弁による講義に集中。その間、雨脚はますます強くなるばかり。野外での自然観察会を強行しなくて本当によかった。

充実した2日間の日程を全て終了し、大満足を実感。私自身、思い出に残る研修会ができたと自負できる会であった。乗鞍青少年交流の家での生活と、充実した研修会を終え、所員の方立ち会いの閉会式後、土砂降りの雨の中を帰路についた。